

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第22号
(令和5年12月)
文責 西澤 庄藏



市の新人大会が終わりました。次年度中総体本番に期待を抱かせる活躍がありました。

2学期は、それぞれの体育系部活動で、3年生が引退し(1・2年生の新チームに移行し)新人大会に向けて日々の練習に励みました。そして、ソフトテニス競技を皮切りに、市(スポーツ推進会)新人大会が行われました。県大会が競技ごとに日程が異なるため、市大会の日程も競技ごとにまちまちです。この紙面にも、タイミングを逸し、掲載していませんでした。とはいえ、全ての競技【団体戦】を応援したわけではありません。同日に複数の競技が開催されたり、地域行事に参加したり、競技団体主催のいわゆる冠大会は応援に行っただけ肝心の新人大会は応援に行けなかったなど、様々な理由です。よって、今回は、女子チームが県大会出場を果たしたソフトテニス競技、中部中学校と合同で出場した軟式野球競技を掲載していません。



10/29(日)市内の生月中学校にて剣道競技がありました。女子チームが団体戦で県大会出場を果たしました。会場がいつもながら凜とした空気感に包まれ、身の引き締まる思いで拍手による応援をしました。



県大会も応援しました。11/26(日)諫早市の小野体育館にて柔道競技がありました。オール1年生で構成されたチームで、惜しくも予選リーグ敗退でした。ただ、団体一試合5対戦で1勝を得るなど、着実な手応えを感じる大会となりました。



12/2(土)市内のライフカントリー多目的競技場にてサッカー競技がありました。PK戦での負けもあり、悔しい準優勝でした。限られたメンバーでポジションを工夫して臨んだこと、サポートメンバーが活躍したことなど、印象に残りました。



12/9(土)市内の平戸文化センターにて卓球競技がありました。男女とも「あと1つ」という対戦で惜敗し、悔しい準優勝でした。最後の対戦に至るまで、勝利を取めた後に仲間が寄り添って喜びを分かち合う姿が目に焼き付きました。



12/10(日)本校にてバレーボール競技がありました。1年生も健闘しましたが、念願の「1勝」には届きませんでした。ただ、「1セット」奪取するなど、粘り強いプレーで観る者を釘付けにし、記録より「記憶」に残る好ゲームでした。